

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	療育支援エフ越谷大袋教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心地よく過ごせる環境で、安心感を持って通所している	支援や活動内容に合わせて使用する教室を変更するなどの工夫を行っています。また、プログラム内容をお子様の興味関心や、強みを生かせるものにし、意欲的に楽しく取り組めるかを重要視しています。	個別支援の時間や、1日の通した関りの中で1人1人をより丁寧にアセスメントを行うことにより、今必要な支援は何かを明確化していきます。その内容を全職員共通認識のもと、支援を展開していきます。
2	連絡帳やメッセージ等を通して、保護者様とお子様の情報伝達を行っている	連絡帳を通して送迎時のやりとり、メッセージを通して日々の情報共、ニーズの確認、教室以外でのお子様の様子を理解し、日々の支援を行っています。保護者様がお話や相談をされやすいよう日々の雰囲気作りも大切にしています。	保護者様の思いをお聞きし、それに答える双方向な会話を大切に、お子様の成長を共有し喜び合えるようにしていきます。
3	見学や契約、面談の中での説明を通し、支援内容等の説明を丁寧に行っている	見学や契約、面談の際には十分な時間をとり、支援計画や各書類の説明を丁寧に行っています。また、定期的なモニタリングや支援計画更新の際の面談も丁寧に行っています。	引き続き、当教室の療育の方向性を保護者様と共有していき、さらに協力を得ながらお子様へより良い支援を提供できるようにしていきます。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者同士の交流の機会が少ない	曜日ごとの来所時間や、学校休業日には1日を通しての預かりを行っているため、保護者会等の時間を設けることが難しいです。	ニーズを確認し、保護者会の開催や交流の機会を設けていけるよう検討していきます。
2	避難訓練等を実施している取り組みを伝えきれていない	避難訓練等の活動の様子を主にSNSでお伝えしているため、SNSをご利用でないご家庭に情報が届きにくくなってしまっていると考えています。	連絡帳や送迎時に口頭で取り組み内容を共有し、SNS等の媒体をよりよいしていないご家庭にも情報が伝わるようにしていきます。
3	地域との交流の機会が少ない	スーパーへの買い物体験といったイベントは、休校日といった限られた条件のときに行うことが多いためと考えています。	引き続き、休校日等にスーパーへの買い物に行った際に、従業員の方との交流を継続して行っていきます。また、駐車場から教室までの移動の際、地域の方とすれ違う際には、「こんにちは」等の挨拶を行えるようになっていきます。